

## 趣 意 書

私は建築家、妻は画家として、約30年間活動してきましたが、教育の荒廃が叫ばれる昨今、私たちは最終的に「教育」という言葉に行き着きました。新渡戸稲造の「思い出の遠友夜学校」にみた精神、不思議な熱は、有島武郎らに引き継がれて50年にも及びます。私は、そんな熱を信じて夢見ていきたいと思えます。そして、仲間を増やし、本格的に「バウハウス・ニセコ」に向かって行きたいと願っております。

蘭越・ニセコ・倶知安をみわたすと、画家・陶芸・金工・ガラス・木彫・大工と職人が多数おります。バウハウスで学び、職人のもとで修行をし、またバウハウスにもどり後継者を育てる。そんな循環する社会を造り、文化を発信する。このような背景から、私は蘭越町民としてすこしでも存在価値のある生き方をしたく、広大な自然、緑豊かなこの地で、建築・工芸・絵画教室、個展開催等をとおして、仲間を増やし、人づくり、町づくり、さらには広域的な地域活動の拠点としたたく現在の地の使用をお願い申し上げます。

蘭越町長 宮谷内 留雄様

平成15年 月 日

代表

蘭越町湯里木彫品製作組合

元組合長